

〔平成26年10月 9日〕
学 長 決 定

1. 制定の目的

国立大学法人筑波大学(以下「本学」という)は、リスクマネジメントを大学経営の重要課題と位置づけ、責任ある体制を構築し、安全・安心な教育研究環境を確保するために、リスクマネジメントポリシーを制定しました。

2. 基本理念

本学は、「開かれた大学」、「不断の改革」を“建学の理念”として、「地球規模課題の解決に向けた知の創成とこれを牽引するグローバル人材育成」をミッションとして掲げ、教育・研究等の革新を進めております。それらの活動を遂行していく上では様々なリスクが想定され、これらのリスクへの対応を誤れば、学生、教職員、その他のステークホルダーの生命や財産等を危険に晒し、本学への信頼が大きく損なわれることになります。

持続的な発展を遂げるために、本学が抱える様々な外的又は内的リスクを的確に把握し、リスクに対応する体制を構築し、リスクの予防に努め、リスクが発生した場合には迅速に対応して被害を最小限に留め、再発防止に努めるために、リスクマネジメントに取り組みます。

また、本学関係者は、一人ひとりが友愛の精神に則り、関係各者と連携協力し、リスクに対応します。

3. 行動指針

- ① 継続的、安定的な業務遂行によって、大学としての社会的責任を果たすとともに、本学の存在価値の向上を図ります。
- ② 学生、教職員、その他のステークホルダーの生命及び安全・健康を守り、本学の利益・財産を損なわないように行動します。
- ③ リスクマネジメント体制を構築し、予防策、発生時の対応策等を整備します。
- ④ リスク発生時には生命の尊重を第一に捉え被害を最小限に留め早期回復を図ります。
- ⑤ 継続的な教育及び啓発活動を通じてリスク情報の共有化を図るとともに、リスク感性の醸成とリスク対応能力の向上を図り、本学を構成する者としての責任ある行動をとります。
- ⑥ リスクに関する社会的要請(法令及び社会的価値観・倫理観の変化等)をリスクマネジメントに的確に反映します。

4. 管理体制

- ① 本学は、学長を最高責任者とした、「全学リスクマネジメント委員会」を設置し、本学に係るリスクに対する重要案件を迅速に検討、実行します。
- ② 大規模災害が発生した場合には、「全学リスクマネジメント委員会」は、「全学災害対策本部」として機能します。
- ③ 大規模災害以外の事案については、「全学リスクマネジメント委員会」の下部組織として、「全学リスク管理室」を置き、リスクの予防に努め、リスクが発生した場合には「リスク対応チーム」を発足させ、迅速に対応します。
- ④ 想定されるリスクの種類ごとに対応部局若しくは関連部局でリスクの洗い出し、予防策、対応策等を検討し、全学横断的見地から、リスク管理を強化するために、PDCAサイクルを推進します。
- ⑤ 全てのリスク情報は、各リスク発生部局を経由してリスクマネジメント担当課長に集まる一元集中管理体制を構築し、学内外に正確な情報を迅速に開示するために広報室と連携して対応します。